

ニセコ町人口ビジョン骨子（素案）概要

資料3-1

- ニセコ町は人口が増加傾向にある稀有な自治体。「住むことが誇りに思えるまち」に向けた実践が、地方創生の最先端の取組として全国から注目を集めることにもつながる。
- 全国的な人口減少が進んでいく中、将来にわたりこのまま人口増加が続いていく保証はない。このことを踏まえ、現在の人口増加傾向に満足することなく、町全体で当事者意識を持って「自治創生」に取り組む姿勢が重要。

人口

近年、人口5,000人規模の町村では珍しく、人口が微増傾向

【転入・転出】

- 10歳未満や30～44歳で、転入数が転出数を上回る（＝社会増）
- 20～30代の移動が特に多い（＝若年層の人口流出）
- 対都市圏で人口流出超過（東京圏、札幌）

【出生・死亡】

- 死亡数が出生数を上回る（＝自然減）
- 出生数は増加傾向、・合計特殊出生率も近年増加に転じた

課題

若年層の
人口流出

対都市圏で
人口流出超過

完全失業者数の
増加傾向

雇用

従業員数は「農業・林業」と「宿泊業、飲食サービス業（観光業）」が多い

正規職員割合の低さ、完全失業者数の増加傾向

影響

老年人口の増加

集落単位で
受ける影響